

令和 7 年度第 2 回 鳥取支部評議会の概要報告

開 催 日	令和 7 年 10 月 24 日 金曜日 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分
開 催 場 所	協会けんぽ鳥取支部 会議室
出 席 者	遠藤評議員、懸樋評議員、北村評議員、小山評議員（委任状） 野川評議員（議長）、盛田評議員【五十音順】
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和 8 年度 保険料率について 2 令和 8 年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定について 3 下期の新規事業について 4 その他
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>○議題 1 令和 8 年度 保険料率について</p> <p>資料に基づき事務局より説明</p> <p>資料 1－1 協会けんぽ（医療分）の 2024（令和 6）年度決算を足元とした収支見通し （2025（令和 7）年 9 月試算）について（概要）</p> <p>資料 1－2 2026（令和 8）年度保険料率に関する論点について</p> <p>資料 1－2（別紙 1）生損保等における準備金について</p> <hr/> <p>【学識経験者】</p> <p>準備金が積み上がっている分、保険料率を下げるできないか。将来的なリスクがあることも理解はできる。保険料率を下げることになった場合は、国庫補助率も下がるかもしれないということだが、政府が手取りの増加や社会保険料等に言及している中で、保険料率の引き下げは国民の負担軽減に繋がることもあり、国庫補助率は引き下げないのではないかと。国庫補助率 16.4%を維持するため担当部署へ働きかけを行うべき。</p> <p>【事務局】</p> <p>保険料率を下げると国庫補助率も下がっている過去の経緯がある。当分の間 16.4%が維持されることになっているが、保険料率を下げることになった場合には、過去の例でいくと国庫補助率も下がる可能性がないとは言えない。</p> <p>【事業主代表】</p>

保険料率は企業としては下げてもらいたいのが本音である。最低賃金が急激に上がっていき、賃上げに対する補助金制度も設けられているが中小零細企業には申請するマンパワーの余力さえないため、当該申請に着手するのが困難である。中小企業の倒産件数は昨年 10,000 社を超えている。中小企業は、賃上げの影響や少子高齢化等によりマンパワーも確保できない中で、息が切れてしまい、保険料の納付もできなくなり、倒産も増加してしまうのではないかと。

【事務局】

賃金の上昇については当面は見込まれるものの、中長期的に上昇が続いていくか不透明である一方で、医療費の伸びは今後も増加が見込まれる状況であるため、動向について注視していく。

【事業主代表】

会社の売上はそれほど上がらない中で、賃金は上昇し続けており赤字構造になっている。従業員のために賃金は上げたいが、上げても実際の手取り収入はそんなに変わらない気がして、上げた甲斐がないと感じる。

保険料率については 10%を維持しても将来的には赤字に転じるシミュレーションが多く、資料を見る限り 10%を維持するほかにないように思われる。ソルベンシー・マージン比率については、様々なリスクをもとに計算されており、資料上では妥当な数字という感じであるが、将来的に赤字に転落することが分かっているならば、そのリスクに対する対処や根本的な構造を見直すため早急に手を打たないといけない。

【事務局】

ソルベンシー・マージン比率については、準備金のあり方等について議論を行ううえで生命保険会社や他保険者と比較したもので、協会と単純には比較できないが、リスクへの対応含め準備金のあり方等について引き続き議論を行っていく。

【事業主代表】

賃金について、今後思うほどには上昇しないと想定すると、シミュレーションのとおり 10 年以内に単年度収支が赤字になっていくことを不安視している。0.1%でも保険料率を引き下げると単年度収支にも影響が出るため、10%を維持すべきである。10 年後には赤字になることが分かっているのであれば、今後どうするかを一刻も早く考えていかねばならない。準備金の運用を行っていくことは賛成であるし、人間ドックの補助をはじめとした病気予防や早期治療に繋がる事業の推進等、様々な対策を行っていかねばならない。

【事務局】

健診の充実や健診機関の確保、加入者への特定保健指導の推進等を進め、鳥取県民の健康を増進、改善させていきたい。そのため、事業主と一緒に従業員の健康づくりを推進していきたいと考えているため、今後ともご協力をお願いしたい。

【学識経験者】

一旦、例えば、保険料率を 0.1%でも引き下げ、収支状況を 2～3 年見て判断し、一方で健康事業を充実させ、料率引き下げと事業推進を連動的に考えて進めてみても良いのではないか。

○議題 2 令和 8 年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定について

資料に基づき事務局より説明

資料 2－1 令和 8 年度 戦略的保険者機能に関する現状評価シート〔鳥取支部〕

資料 2－2 令和 8 年度 戦略的保険者機能に関する課題・重点施策シート〔鳥取支部〕

特になし。

○議題 3 下期の新規事業について

資料に基づき事務局より説明

参考資料 1 健康保険各種事業にかかる大型ビジョンによる広報（イメージ）

【学識経験者】

当該事業は令和 8 年度に実施予定のものを先行して実施するという意味合いでよろしいか。

【事務局】

ご認識のとおり。

○議題 4 その他

資料に基づき事務局より説明

参考資料 2 マイナ保険証への円滑な移行に向けた対応について

参考資料 3 協会けんぽ DX について（電子申請、けんぽアプリ）

【学識経験者】

マイナ保険証について、電子証明の有効期限が切れることについてアラートや通知がくるということだが見落とす方はいると思うので、有効期限切れについての周知は手厚く実施したほうが良いのではないか。

【事務局】

お知らせについては居住の市区町村から有効期限切れの 2～3 か月前に手紙で通知される。協

会としても加入者及び事業主の皆様に周知を進めていく。

特 記 事 項	
----------------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 傍聴人：新日本海新聞社記者 1 名（令和 7 年 10 月 25 日 朝刊に記事掲載）・ 次回評議会の予定：令和 8 年 1 月 |
|--|---|